

オーバルネクストETF情報

2013年3月25日号



TEL 03(5641)5777

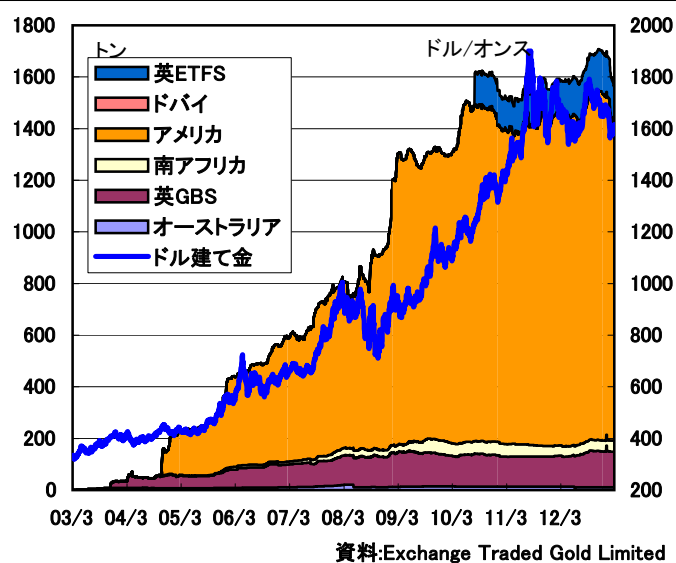
(株) オーバルネクスト
〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町 7-2

弊社ホームページで本レポートを無料公開中
<http://www.ovalnext.co.jp/>

 **Oval Next Corp.**

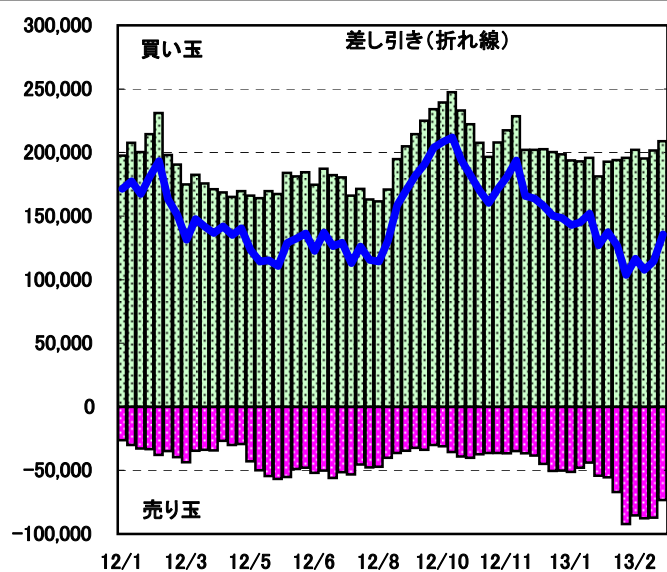
ETF残高は減少継続、先物買いは拡大

●金ETFの現物保有高



●大口投機家の取組=CFTC・NY金

単位: 枚



■金はキプロス危機による逃避買いは一時的なものに

米商品先物取引委員会(CFTC)の建玉明細報告によると、3月19日時点のニューヨーク金の大口投機家の買い越しは13万5,610枚となり、前週の11万4,507枚から拡大した。今回は新規買いが7,278枚、買い戻しが1万3,825枚入り、買い越しを2万1,103枚拡大した。22日のニューヨークの金ETF(上場投信)の現物保有高は前週末比11.74トン減の1221.26トンとなった。キプロス危機を受けて19日に2.71トン増加する場面も見られたが、逃避買いは一時的なものとなり、ポートフォリオ組替による機関投資家の売りが続いている。

ドル建て現物相場は2011年9月5日、史上最高値1920.25ドルを付けた。その後は欧州の債務問題などを背景に株価が急落し、リスク回避の動きが上値を抑える要因になった。ただ米連邦公開市場委員会(FOMC)声明で、超低金利政策の長期化見通しが示されたことや、量的緩和第3弾(QE3)決定などが下支え要因になった。2012年は1527.15～1795.65ドルで推移した。

前週は、キプロス危機を受けて堅調となり、1616.58ドルまで上昇した。ただ週明けはキプロス支援で大枠合意が伝えられると、地合いを緩めており、投資資金の流出が続くようなら、圧迫要因になるとみられる。

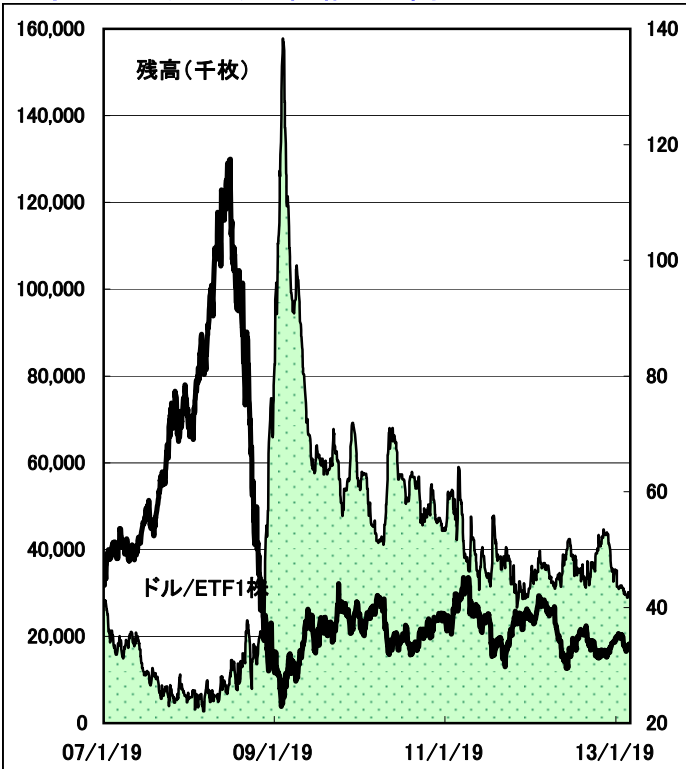
(オーバルネクスト 東海林勇行/3月25日記)

<免責事項>

オーバルネクストは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終決定はご自身の判断で行いますようお願いいたします。また掲載している情報の正確性については万全を期してはおりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、当社は利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、当社が提供するすべての情報について、当社の許可なく転用・販売することを固く禁じます。

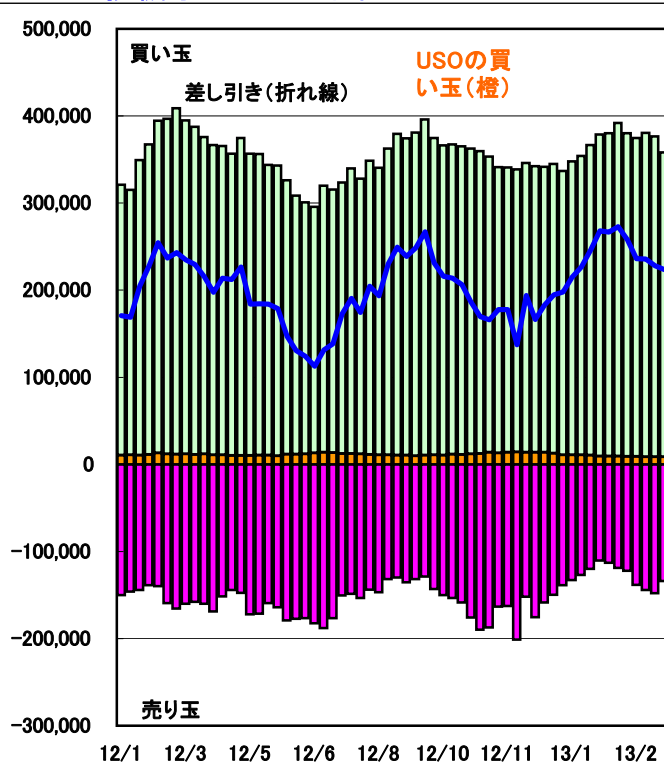
ETF残高は減少、NY先物買いは縮小

●原油ETF(USO)の価格と残高



●大口投機家とUSOの取組

単位:枚



■最近の動向と材料

ニューヨーク証券取引所(NYSE)で取引されている原油ETF(コード:USO)の残高は3月22日時点で3,010万株となり、前週末比10万株減少した。ニューヨーク原油は、キプロス危機などに上値を抑えられ、もみ合いとなった。USOが先物市場につないでいる原油の買い玉は22日時点でニューヨーク・マーカンタイル取引所(NYMEX)で8,774枚(同36枚減)、インターコンチネンタル取引所(ICE)で2,000枚(同変わらず)となった。

米商品先物取引委員会(CFTC)建玉明細報告によると、3月19日時点のニューヨーク・マーカンタイル取引所(NYMEX)の原油の大口投機家の買い玉は35万8,086枚(前週37万6,467枚)、売り玉は13万4,365枚(同14万8,272枚)で22万3,721枚買い越しとなり、前週の22万8,195枚買い越しから、4,474枚買い越し幅を縮小した。USOの買い玉は大口投機家の2.4%(同2.3%)を占めている。インターコンチネンタル取引所(ICE)のWTI原油の大口投機家の取組は、買い玉が9万8,287枚(同8万8,612枚)、売り玉は3万9,383枚(同4万8,705枚)で5万8,904枚買い越し(同3万9,907枚買い越し)に拡大した。USOの買い玉は大口投機家の2.0%(同2.3%)を占めている。

【原油ETF残高と先物ポジション】

	United States Oil Fund, LP			先物ポジション			
	終値	出来高	残高	NYMEX	Financial Future	ICE	限月
13/3/18	33.65	3,471,410	30,200	8,810		2,000	5/13
13/3/19	33.07	6,548,561	29,600	8,595		2,000	5/13
13/3/20	33.45	4,502,013	29,100	8,416		2,000	5/13
13/3/21	33.05	4,308,369	29,100	8,416		2,000	5/13
13/3/22	33.61	3,120,568	30,100	8,774		2,000	5/13

単位:残高は千株

資料:NYSE、USO

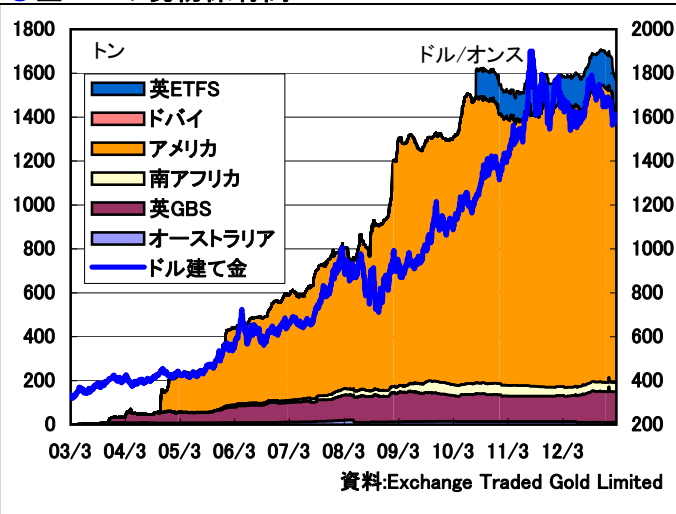
(オーバルネクスト 東海林勇行/3月25日記)

<免責事項>

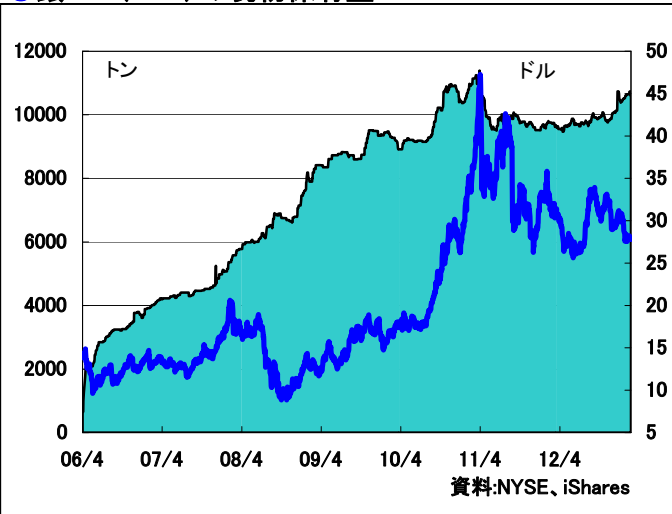
オーバルネクストは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終決定はご自身の判断で行いますようお願いいたします。また掲載している情報の正確性については万全を期してはおりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、当社は利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、当社が提供するすべての情報について、当社の許可なく転用・販売することを固く禁じます。

金ETFに投資資金が戻る

●金ETFの現物保有高



●銀ETF(SLV)の現物保有量



■最近の動向と材料

世界12カ国に上場している金ETF(上場投資信託)の現物保有高は、3月20日時点で1566.56トンとなり、前週末比10.83トン減少した。米国で減少した。ただ18日に13.54トン減少したのち、19日に2.71トン増加しており、キプロス問題に対する懸念などを受けて投資資金が戻った。

ニューヨーク証券取引所(NYSE)の銀ETF(コード:SLV)の現物保有量は前週末比150.30トン減の1万0583.36トンとなった。ETFセキュリティーズの銀ETFの現物保有量は、ロンドン(コード:PHAG)が同横ばいの890.94トン、ニューヨーク(コード:SIVR)が同横ばいの584.60トンとなった。

【金ETF現物保有量詳細】

	豪州	英GBS	英ETFs	南ア	米国	ドバイ	合計	金現物相場
13/03/14	11.16	138.13	152.66	42.45	1236.31	0.00	1580.71	1,590.75
13/03/15	11.16	138.13	152.66	42.45	1233.00	0.00	1577.40	1,592.30
13/03/18	11.16	138.13	152.66	42.45	1219.45	0.00	1563.85	1,605.85
13/03/19	11.16	138.13	152.66	42.45	1222.16	0.00	1566.56	1,613.33
13/03/20	11.16	138.13	152.66	42.45	1222.16	0.00	1566.56	1,606.20

単位:トン、現物相場はドル/オンス

注:他の金ETFはIshare TRUST GOLD(20日現物保有は218.24トン)、米ETFセキュリティーズ(20日35.74トン)など。

資料: Exchange Traded Gold Limited

【銀ETF(NYSE:コードSLV)】

	銀ETF価格	出来高	現物保有量
13/03/14	27.80	7,311,084	10,703.6
13/03/15	27.80	5,451,907	10,733.7
13/03/18	27.95	6,173,835	10,733.7
13/03/19	27.93	8,780,138	10,583.4
13/03/20	27.81	5,345,786	10,583.4

単位: 価格はドル/ETF、現物保有量はトン

資料: NYSE, iShares

注:他の銀ETFはETFセキュリティーズ(ロンドン 20日890.94トン、NY 20日584.60トン)。

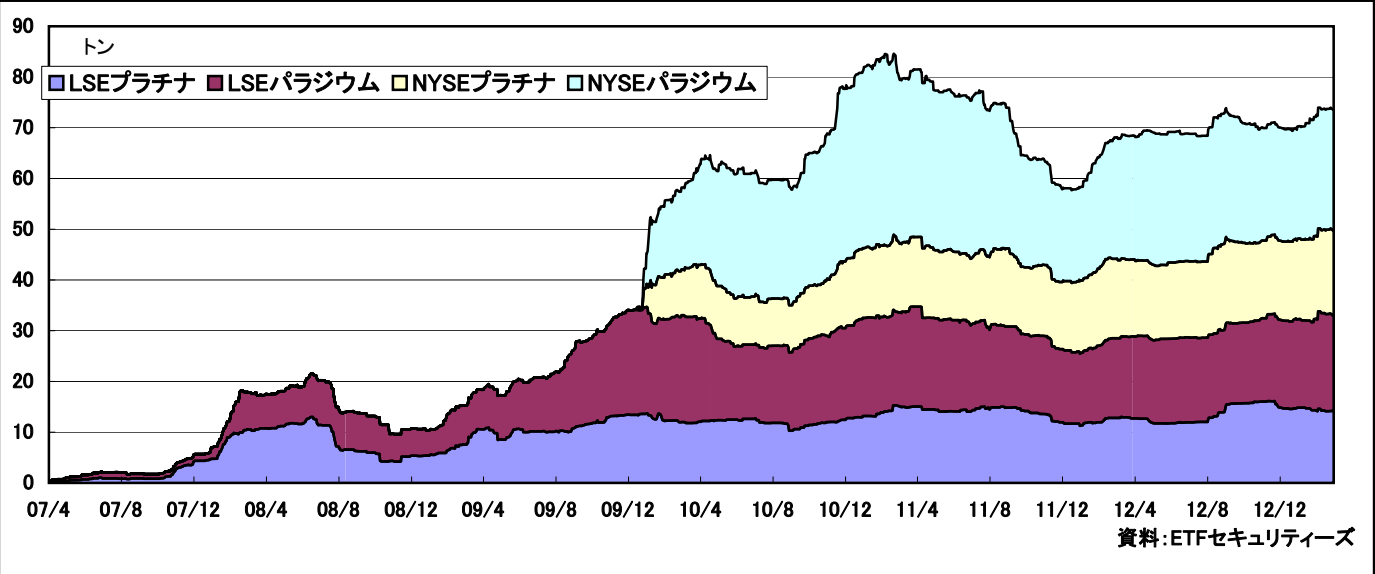
(オーバルネクスト 東海林勇行/3月21日記)

<免責事項>

オーバルネクストは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終決定はご自身の判断で行いますようお願いいたします。また掲載している情報の正確性については万全を期してはおりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、当社は利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、当社が提供するすべての情報について、当社の許可なく転用・販売することを固く禁じます。

ロンドンのパラジウムETF残高が減少

●PGMのETF現物保有高



■最近の動向と材料

ロンドン証券取引所(LSE)に上場しているプラチナ・パラジウムのETFの現物保有量(メタルセキュリティーズ分)は20日時点でプラチナが14.19トン、パラジウムが18.84トンとなり、前週末比でプラチナが0.02トン増加、パラジウムが0.37トン減少した。一方、ニューヨーク証券取引所(NYSE)のプラチナ・パラジウムETFの現物保有高は20日時点でそれぞれ16.78トン、23.80トンとなり、前週末比でプラチナ、パラジウムともに横ばいとなった。

プラチナはキプロス問題に対する懸念を受けて下落したが、安値は買い拾われた。一方、パラジウムは利益確定の動きが出て売られた。

【ETFセキュリティーズ】

	ロンドン証券取引所(LSE)				NY証券取引所(NYSE)	
	プラチナ	パラジウム	銀	金	プラチナ	パラジウム
13/03/14	14.15	19.21	890.94	159.49	16.63	23.80
13/03/15	14.17	19.21	890.94	159.43	16.78	23.80
13/03/18	14.19	18.84	890.94	159.44	16.78	23.80
13/03/19	14.19	18.84	890.94	159.32	16.78	23.80
13/03/20	14.19	18.84	890.94	159.34	16.78	23.80

単位:トン

資料:ETFセキュリティーズ

(オーバルネクスト 東海林勇行/3月21日記)

<免責事項>

オーバルネクストは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終決定はご自身の判断で行いますようお願いいたします。また掲載している情報の正確性については万全を期してはおりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、当社は利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、当社が提供するすべての情報について、当社の許可なく転用・販売することを固く禁じます。